

マルチレコーダー

Reclt

取り扱い説明書

1. はじめに.....	3
概要.....	3
セットアップ.....	3
動作環境.....	3
2. 取り扱い説明.....	4
基本仕様.....	4
画面.....	5
設定.....	6
接点入力.....	7
録音する.....	7
タイマー.....	8

1. はじめに

概要

recitは最大8つのステレオ系統で独立して録音できるソフトウェアです。
スケジュールによる録音開始/停止、無音検知による録音開始/停止機能を持ちます。
接点入力による外部制御やタリー出力にも対応。

セットアップ

CDの内容を適当なフォルダにコピーします。
全てのファイルの属性から読取専用を解除します。

1. (ソフトウェアプロテクト版)
keyXX.exeを実行して試用制限を解除できます。
keyXX.exeはライセンス毎に発行されるものです。第三者に利用されないよう注意してください。
これは管理者権限で実行する必要があります。ログインユーザーが管理者であってもダブルクリックで実行するのではなく
右クリックメニューから「管理者として実行」を選んでください。
ログインしているユーザーが管理者ユーザーでない場合は管理者ユーザーのパスワードを聞く画面が表示されるのでパスワードを入力して実行してください。

(USBキー版)
1. USBキードライバをインストールします。詳細はkey¥readme.txtを参照してください。
2. コンピュータを再起動します。
2. recit.exeがアプリケーション本体です。

動作環境

Windows7/8.1/10が快適に動作するPC
WindowsWDM対応オーディオデバイス

同時に複数の系統の録音や再生を行う場合には複数のステレオデバイスとして列挙されるオーディオIFが必要です。
(例:8入出力の場合)

Input(1+2)
Input(3+4)
Input(5+6)
Input(7+8)

のようにコントロールパネル等で認識されている必要があります。
8出力×1デバイスのように認識されるオーディオIFでは1ステレオ入出力しか使用できません。

2. 取り扱い説明

基本仕様

録音は全てステレオ16ビットで行われます。

全ての設定はレジストリ内のHKEY_CURRENT_USER¥musicobo以下に保存されます。
画面設定がおかしい場合や初期値を復元したい場合などにはこれをRegedit.exeで削除してみてください。

「db」とは音量の単位です。、-6dbが約半分、+6dbが約2倍の音量を指します。

-60db	=	0.0010
-40db	=	0.0100
-30db	≒	0.0316
-20db	=	0.1000
-18db	≒	0.1259
-12db	≒	0.2512
-10db	≒	0.3162
-6db	≒	0.5012
-5db	≒	0.5623
-4db	≒	0.6310
-3db	≒	0.7079
-2db	≒	0.7943
-1db	≒	0.8913
0db	=	1.0000
1db	≒	1.1220
2db	≒	1.2589
3db	≒	1.4125
6db	≒	1.9953
10db	≒	3.1623
12db	≒	3.9811
18db	≒	7.9433
20db	=	10.0000

画面



設定

設定

一般

表示サイズ 1.40 表示フォント メイリオ

録音

録音数 8 サンプリング周波数 44100 削除日数 0

入力デバイス	レベル	フォルダ
1 ADAT (1+2) (RME HDSPe AIO)	-2.00 db	...
2 ADAT (1+2) (RME HDSPe AIO)	0.00 db	...
3 Analog (5+6) (RME Fireface UC)	0.00 db	...
4 Analog (7+8) (RME Fireface UC)	0.00 db	...
5 ADAT (3+4) (RME Fireface UC)	0.00 db	...
6 Analog (5+6) (RME Fireface UC)	0.00 db	...
7 Analog (5+6) (RME Fireface UC)	0.00 db	...
8 Analog (5+6) (RME Fireface UC)	0.00 db	...

入力検知録音 開始 -30 db 停止 -60 db 無音長さ 3000 ms

時刻校正

一日の開始時刻 05:00:00

毎時 0 分 0 秒 前後 120 秒以外は無視

校正ピン

BCD NA 38400 NA

HID ID NA NA

キャンセル

OK

表示サイズ	画面の表示の大きさを倍率で指定します。
表示フォント	画面表示に使用するフォントを選択します。MS Pゴシックかメイリオを選べます。
録音数	表示される録音系統の数を設定します。最大は8になります。
サンプリング周波数	録音のサンプリング周波数です。全ての系統で同一の値を使用します。
削除日数	指定フォルダ中に含まれる古いwavファイルを自動的に削除します。削除しない場合は0を入力します。
入力デバイス	各系統が録音に使用するデバイス
レベル	録音音声のレベル調。アプリケーション内部のデジタルレベル調整なので、過大入力のカリブレーションを解消することは出来ません。
フォルダ	各録音系統が録音ファイルを作成するフォルダ
入力検知録音	[開始]レベル以上の音声が入力されたときに録音開始し、[停止]レベル以下の無音が[無音長さ]以上続いたときに録音停止します。
一日の開始時刻	050000と指定するとファイル命名時の時刻の扱いが05:00:00から28:59:59となります。
時刻校正	参照する時刻を入力します。59 分 0 秒と入力すると、接点を受け取ったタイミングを 59 分 0 秒とみなします。 [前後 n 秒以外は無視]に 0 以上の数値を入れると、不用意な接点入力を無視することができます。 BCDシリアルモードの場合は59分0秒の信号を受け取ったときに修正を行います。 BCDを利用する場合はメイン画面にBCDの時刻も表示されます。
BCD	BCDシリアルによる時刻校正を行います。オフの場合は接点をシリアルに変換するオプションを利用して接点入力を行います。
(シリアルポート) (Baud)	Comポート番号を選択します。 BCDシリアルでは2400、接点をシリアルに変換するオプションを利用する場合はその仕様に合わせます。
HID ID	USB接続の接点受信ボックスで接点入力を行う場合に機器IDを選択します。
校正ピン	時刻校正の接点信号を入力する場合に、ピンを指定します。それ以外のピンは録音の開始/停止に使用されま

アプリケーション再起動後に反映される項目もあるのでご注意ください。

接点入力

外部制御で録音の開始/停止を行う場合にはオプションの接点入出力ボックスを使用します。

標準仕様ピンアサイン(4 入出力対応) DB25(ミリネジ)

1	1 REC 入力	14	1 REC タリー出力
2	2 REC 入力	15	2 REC タリー出力
3	3 REC 入力	16	3 REC タリー出力
4	4 REC 入力	17	4 REC タリー出力
5	1 STOP 入力	18	1 STOP タリー出力
6	2 STOP 入力	19	2 STOP タリー出力
7	3 STOP 入力	20	3 STOP タリー出力
8	4 STOP 入力	21	4 STOP タリー出力
9		22	
10		23	
11		24	
12		25	GND
13			

録音する

録音する丸の録音ボタン  を押して録音開始します。


AutoRecの[Start]がオンになっている場合はその後、音声の入力があり次第自動的に録音開始します。

録音ボタンを右クリックすると、録音ファイル名をあらかじめ指定することが出来ます。

指定がない場合は年月日時分秒と系統を示す文字列でファイル名が作成されます。(例：2012-12-22 12_10_32 1.wav)

指定されたファイルがすでに存在するときは、指定文字列+年月日時分秒と系統.wavというファイル名になります。

指定を解除するときは右クリックして表示されるダイアログで[キャンセル]をします。

録音を終了する場合は四角いグレーのアイコンの停止ボタン  を押します。

入力検知録音の[停止]がオンになっている場合は、[停止]レベル以下の無音が[無音長さ]ミリ秒以上続いたときに録音停止します。

最大録音サイズは4GBです。

入力検知録音の待機状態でも内部的には動作していますので、入力を長時間待機する用法は出来ません。

CPUなどのリソースが不足すると音声や波形が途切れることがあります。

録音が途切れる場合は以下の点などに注意してください。

- 他の常駐アプリケーションを終了させる
- HDDを最適化してみる

複数の入力を同時使用する場合、各チャンネル間のクロックをソフトウェア的に同期する機能はありませんので、ハードウェア的に同期されたマルチチャンネル入出力のサウンドカード等を使用してください。

タイマー

タイマー(I)

日 月 火 水 木 金 土

Ch 2

開始時刻 18:55:40

録音時間 00:10:00

備考 TEST2

日付

ファイル名

追加 上書き 削除 △ ▽

Ch	録音日	曜日	開始時刻	録音時間	備考	ファイル名
1		木	18:55:40	00:10:00		
2		金	18:55:40	00:10:00		
2		火	18:58:59	00:00:20		
4		木	18:55:40	00:10:00	TEST	
3		火	19:04:40	00:00:20		
2		木	18:55:40	00:10:00	TEST2	
2		火	19:14:00	00:00:20		

上側の各欄に入力したい内容を入れます。

(日～土)	出力する対象曜日を選択します。
日付	曜日ではなく日付で予約します。その右の欄に 2012/12/31 のような形式で入力します。
(ch)	録音する録音系統を選択します。
開始時刻	123000 の形式でキー入力すると 12:30:00 と変換されます。 開始を 28:50:00、終了を 05:10:00 と日付をまたぐことも可能です。
録音時間	0.0、00.00、0.00.0、00.00.000 などの形式で入力します。
備考	コメントを入力します。ファイル名などには反映されません。
ファイル名	ファイルのタイトルを入力します。この文字列に日時、系統名を付加したファイル名で録音されます。 (例 : RECTITLE 2012-12-22 12_10_32 1.wav)

追加ボタンで登録されます。

リスト上で行を選択して削除や上書きが可能です。

このタイマーのリストをメニューの[タイマー]から読み込み/保存が出来ます。

録音画面の[Timer]ボタンをクリックしてタイマーが有効であるときのみ、録音が開始されます。